

家庭学習のてびき

～進んで学ぶ子供を育てるために～



家庭を学びの場に

子供たちの学力向上を図ることは、学校の重要な役割の一つです。同時に「進んで学ぶ子供」を育てるためには、家庭のかかわりがとても大切です。

学校（教師）と家庭（保護者）が互いに連絡し合い、助け合いながら子供の学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を図っていきましょう。

確かな学力を身につけるためには家庭学習が欠かせません。

このパンフレット～「家庭学習のてびき」～をきっかけにして、家庭での学習をいっしょに考えて試してみませんか。

むかわ町教育委員会

家庭学習の意義

家庭学習によって、次のような教育的効果が期待できます。

はじめに

中学生の家庭学習は、目的を持ち自主的に勉強できるようにしましょう。そのため、次のことに心がけましょう。

- 1、学校の授業に集中し、分かりやすいノート整理を心がけましょう。
- 2、家庭学習の目的を明確にしましょう。
- 3、家庭学習の内容を具体的に決めましょう。

(1) 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。また、予習することも大切です。授業を分かりやすくします。

特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「分かった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。

(2) 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになります。鍛えれば、鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。

(3) 学習の習慣化

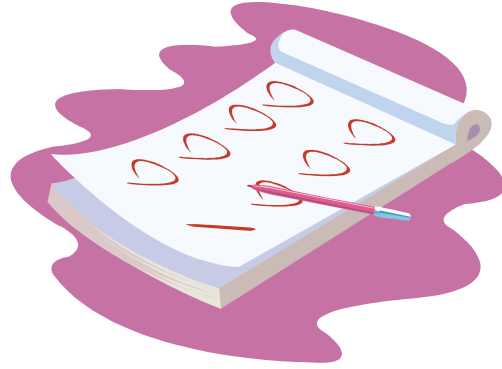
毎日、一定時間、決まった場所で家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて、当たり前の習慣になり、子供達の「学ぶ力」を育てるという大きな力につながります。

(4) 忍耐力・根気・集中力の強化

家庭学習の最大の敵はテレビやゲーム、インターネットなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、我慢強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲーム、学習以外のインターネットの時間を決めて学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。そのためには、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族全員の協力が必要なのは言うまでもありません。

家庭学習に良い習慣は？

家庭学習や生活習慣について
チェックしてみましょう。



- ☐ ① 学習する時間帯を決めている。
- ☐ ② 時間や教科などの家庭学習の計画を立てている。
- ☐ ③ 学習する場所を整頓してから学習する。
- ☐ ④ テレビや音楽を消して学習している。
- ☐ ⑤ テレビやゲーム、学習以外のインターネットなどメディアにふれる時間を決めている。
- ☐ ⑥ 時間にゆとりがあるときは、読書をしている。
- ☐ ⑦ 学習が終わったら、しっかり後片付けをする。
- ☐ ⑧ 睡眠時間を 7 時間程度とっている。
- ☐ ⑨ 夜 11 時までには、就寝する。
- ☐ ⑩ 毎朝、食事をする。
- ☐ ⑪ 毎日、家族で学校のことを話題にした会話がある。

学力アップは規則正しい生活から

「早寝、早起き、朝ご飯」は、生活リズムの原則です。生活リズムを整えることが学力向上につながります。学校でも家庭でも、生き生きと学習に取り組めるよう規則正しい生活を送りましょう。

睡眠時間のめやす	小学生	8～10 時間
	中学生	7～8 時間
就寝時刻のめやす	小学生	午後 8～10 時
	中学生	午後 10～11 時



1・2年生の家庭学習

家庭学習時間のめやす

1年生…80分以上

2年生…90分以上



1 学校では

- 教科ごとに先生が替わる、いわゆる教科担任制になります。
- 学習内容が小学校に比べ深まり、量も多くなります。
- 部活動なども始まり、生活リズムが大きく変わります。まず、中学生の生活リズムに慣れることが大切です。

2 家庭で学習するときは

- 学習前に、身の回りの整理整頓をしましょう。
- 宿題はその日のうちにすませましょう。
- 苦手な教科の予習、復習をしましょう。
- 部活動があり、帰宅時間が遅くなります。何時までに学習を終えるかなど目標や計画を立てましょう。

3 定期テストを目安に計画を立てましょう

- 定期テストや実力テストがいつあるか、カレンダーに書き込みましょう。
- テスト範囲とテストまでの日数を考えて、何日に何をするかを書き込みましょう。
- 計画通りに学習が進めているか、カレンダーにチェックしましょう。

4 わからないことをそのままにしない

問題に取り組んでいて分からなくなったときは、

- ① 分かるところまで戻ってやり直しましょう。
- ② 間違ったところを、もう一度見直しましょう。
- ③ どうしても分からないところは、先生に聞きましょう。

5 予習・復習を欠かさずに

前もって自分で調べたり、考えたりして授業に臨めば、課題意識も高まり、授業に集中できます。また、その日のうちに授業を思い出しながら、教科書やノートを使って学習のポイントを整理しましょう。

1・2年生用

国語

- ◇ 教科書を繰り返し音読し、すらすら読めるようにしましょう。
- ◇ 間違えた問題は、納得がいくまでやり直しましょう。
- ◇ 授業で使ったプリントやワークを整理し、学習を確認しましょう。
- ◇ その日に学習した漢字・語句は、書いて覚えましょう。

社会

- ◇ 教科書を良く読み、重要な語句をチェックしたり、ノートに書いたりしてまとめましょう。
- ◇ 使用したプリントやワークを整理して学習を確認しましょう。
- ◇ テレビや新聞のニュースから日本や世界の動きに注目しましょう。

数学

- ◇ 教科書の例題を理解した後は、練習問題に挑戦しましょう。
- ◇ 授業で解いた問題やワークの問題を、繰り返し練習しましょう。
- ◇ ワークで様々な問題を多く解き、問題に慣れましょう。

理科

- ◇ 教科書やノートの内容を読み返し、要点をまとめておきましょう。
- ◇ 「目的や方法」「結果と考察」を関連付けて「実験のまとめ」をしておきましょう。
- ◇ 重要事項に気をつけて、ワークなどで繰り返し、問題を解きましょう。

英語

- ◇ 教科書を何度も声を出して、読む練習をしましょう。
- ◇ 単語の読みと意味を確認しながら、何度も書いて覚えましょう。
- ◇ 教科書の「暗記すべき短い英文」や基本文は読める、書けるようにしましょう。
- ◇ 日本語を英文に、また英文を日本語に直す練習をしましょう。

その他

- ◇ 家庭科で実習したことを、生活の中で役立てましょう。
- ◇ スポーツなどで体を動かし、健康の保持増進に心がけましょう。
- ◇ 進んで読書をし、日本語を広げましょう。

◎北海道教育委員会のホームページには、「どさんこ学び応援サイト」があり、チャレンジテストもできます。また、むかわ町ホームページでは「むかわ学配信動画」を視聴でき、気付いたことをまとめたり、詳しく調べたりする学習もできます。



むかわ学動画 QRコード

3年生の家庭学習



家庭学習時間のめやす

100分以上

1 学校では

- 3年生は、1・2年生からの総復習の時間が必要です。
- 日頃の授業を大切に、基礎・基本を確実に身に付けることが必要です。
- 学校では、行事や部活動において中心的な立場です。時間の使い方を工夫し、学習との両立をはかりましょう。

2 進路についての目標を持ち、学習に取り組みましょう

- 高校のオープンスクールや学校説明会に、積極的に参加しましょう。
- 定期テストや学力テストに向けて、計画的に学習しましょう。
- 試験科目の中で、特に不得意な教科の学習に力を入れましょう。

3 教科書やノートを見て、授業を振り返りましょう

- 授業で、分からなかったところを教科書や参考書で確かめましょう。
- 国語の漢字、英単語や文法、数学の公式は、繰り返し書いて覚えましょう。
- 社会の重要な語句や理科の用語を、ノートにまとめて暗記しましょう。

4 部活動を引退したら

部活動引退後は、帰宅してから夕食までの時間が長くなります。間食が増えて夕食が食べられなくなったり、テレビ視聴時間が長くなったりして、生活のリズムが乱れがちです。今一度、生活・食事・学習を見直しましょう。

5 こんな冬休みに

- 受験日までのスケジュールを再確認し、計画どおりに学習を進めましょう。
- 体調管理に十分気をつけ、風邪などをひかないようにしましょう。

3 年 生 用

国語

- ◇ はっきりと声に出して教科書を読みましょう。繰り返して読むと読解力がつきます。
- ◇ 漢字は何回も書いて、確実に覚えるようにしましょう。
- ◇ 授業で使ったプリントやワークを整理し、学習を確認しましょう。
- ◇ 小説や物語を読んで、自分の生き方を考えてみましょう。

社会

- ◇ 新聞やテレビで話題になっていることを、自分でも考えてみる習慣をつけてみましょう。
- ◇ 教科書を繰り返し読んで、内容の理解に努めるようにしましょう。
- ◇ 学習したことを、ノートに分かりやすくまとめて理解しましょう。

数学

- ◇ その日の授業で取り組んだ計算問題を、やり直しましょう。
- ◇ 教科書の文章題と同じものを、問題集などを使ってやり直しましょう。

理科

- ◇ 図やグラフなどの資料を見ながら、なぜそうなるのかを考えるようにしましょう。
- ◇ その日の授業で学習したことを、まとめたり、整理したりするなど、ノート作りを工夫しましょう。
- ◇ 自然や科学に関することに疑問や関心をもって、調べる習慣をつけましょう。

英語

- ◇ 新出語(句)と基本文は声に出して、繰り返し書き、確実に覚えましょう。
- ◇ 学習した英文は、必ず声に出して読みましょう。
- ◇ 英文を日本語に直したり、逆に日本語を英文に直す練習をしましょう。
- ◇ 学習した基本文型や文法を用いて、英文を作ってみましょう。

その他

- ◇ 家族の一員としての役割を持ち、それをしっかり果たしましょう。
- ◇ スポーツなどで体を動かし、健康の保持増進に心がけましょう。
- ◇ 進んで読書をし、日本語を広げましょう。

◎北海道教育委員会のホームページには、「どさんこ学び応援サイト」があり、チャレンジテストもできます。また、むかわ町ホームページでは「むかわ学配信動画」を視聴でき、気付いたことをまとめたり、詳しく調べたりする学習もできます。



むかわ学動画 QRコード

この「家庭学習のてびき」はむかわ町ウェブサイトからもダウンロードできます。

むかわ町ウェブサイト <http://www.town.mukawa.lg.jp/4573.htm>

お問い合わせ むかわ町教育委員会 生涯学習課学校教育グループ

電話 0145-42-2484